

WJOG 通信

WJOG はがんの標準治療の確立に取り組む専門家医師を中心とした NPO 法人です。

はじめに

残暑の候、皆様ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。暑さが続く中、いかがお過ごしでしょうか。

先日の南海トラフ地震により被災された皆様に、心よりお見舞い申し上げます。一日も早い復旧と、被災地の皆様のご健康と安全をお祈り申し上げます。

WJOG では引き続き多くの活動が進行しており、今年も次世代リーダー育成のための研修合宿、Boot Camp (旧 虎の穴)が開催されます。また、各臓器グループにおいて多数の臨床試験が進行中であり、より良いがん診療を目指した活動を継続して参ります。

皆様には、引き続きご支援・ご協力を賜りますよう、何とぞよろしくお願い申し上げます。

<編集担当者> 尾崎 由記範 (WJOG 教育広報委員会副委員長 (乳腺グループ))
がん研究会有明病院 乳腺内科/先端医療開発科



花火 (編集担当作)



がん研有明病院 12 階からの写真 (山口 祐平先生提供)

WJOG 総会 開催報告

2024 年 5 月 25 日 (土)、2024 年度の WJOG 総会が無事に開催されましたことをご報告申し上げます。本総会には多くの委員・先生方にご参加いただき、過去一年間の活動報告、現在進行中の研究、今後計画されているプロジェクト等について活発に議論・検討がなされました。WJOG では呼吸器、消化器、乳腺、バスケットを含めた 4 委員会および若手医師グループ (WING、FLAG、BRIGHT) があり、それぞれ活発に研究活動が進められていることが確認されました。各委員からの報告や質疑応答が行われ、WJOG 内の連携強化が図られました。皆様からいただいた貴重なご意見をもとに、より一層有意義な研究活動を進めて参ります。



教育セミナー「就労支援と患者市民参画」



総会に引き続き、「がん患者ががん研究に期待するもの～就労支援と患者市民参画～」をテーマとして、教育セミナーが同日に開催されました。サッポロビール株式会社の村本 高史様から、「社会が求める就労支援のあり方と課題」としてご講演いただきました。頸部食道がんのご経験を乗り越え、治療と

就労の両立支援を精力的に推進されていることが語られました。“働くことは、人とのつながりを実感し、自分の存在価値を再確認できる深い喜びがあること”、“両立支援には勤務環境と医療者からのちょっとした働きかけがとても重要であること”、などのメッセージが非常に印象的でした。アンケートでも、多くの先生方から「感動的な講演」とコメントをいただきました。また、岡山大学 乳腺・内分泌外科 枝園 忠彦先生からは、「JCOG 乳がんグループ 患者市民参画の取り組みと展望」と題し、臨床試験立案の段階から患者市民の方々と一緒に議論することで、研究者の自己満足ではなく、社会が真に求める研究を探索・実施し、それをわかりやすく還元していく取り組みについてご講演いただきました。臨床試験を立案・実施する立場として学ぶべき点が非常に多く、まさに WJOG として取り組んでいくべき課題であると多くの先生方からコメントをいただきました。アンケートでは、多くの先生方から「満足した」(83%)とのご評価をいただき、両名のご講演について大変好評をいただくと同時に、WJOG において就労支援、患者市民参画をより強く推進していく必要性を再認識する、貴重な機会となりました。

Remember Girl's Power!! 2024 共催のお知らせ

小児がん・AYA 世代 (15 歳-39 歳)のがん、薬剤開発のための臨床試験 (治験) の啓発、がん患者支援、研究支援のためのチャリティーライブである オンコロ x 豊島区 presents 「Remember Girl's Power!! (オンコロライブ) 2024」が、2024 年 9 月 7 日 (土)、8 日 (日)、21 日 (土)、22 日 (日) に開催されます。このライブは「豊島区がん対策推進計画」を進める豊島区との共催で過去 7 年にわたり行われ、大変好評であります。WJOG は、がん治療開発、臨床試験の必要性に加え、臨床試験グループとしての意義や取り組みなどを社会に普及する活動の一環として、例年アカデミア共催として参加しております。WJOG ではこうした社会啓発活動にも積極的に従事して参ります。



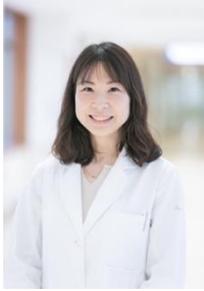
Remember Girl's Power!! 2024 ホームページ (<https://oncolo.jp/rgp/2024lp/>)

実施中の臨床試験

WJOG16822B	がん全ゲノム解析を用いた乳癌術前化学療法の最適化 –病理学的完全奏効 (pCR)予測および non-pCR の新規 Target 探索- (AMED 全ゲノム)	
目的	トリプルネガティブ乳癌およびルミナル乳癌に対して標準治療として術前化学療法を予定している症例を対象として、腫瘍組織を用いたがん全ゲノム解析を行い、pCR を予測する遺伝学的・免疫学的因子を同定し、また non-pCR 症例に対する新規標的分子を探索することで、乳癌周術期薬物療法を最適化すること	
対象	術前薬物療法を予定している Stage II-III のトリプルネガティブ乳癌またはルミナル乳癌	
試験の進捗	2023 年 12 月より登録開始、登録期間は 2 年間で、240 例登録予定です。現在登録受付中です。	 がん研有明病院 乳腺内科 先端医療開発科 尾崎 由記範
研究者からのコメント	乳癌周術期治療の開発により治療成績は向上していますが、免疫チェックポイント阻害薬が有効な患者の選択や免疫関連有害事象の予測、最適な術後治療の選択など、多くの課題が残されています。トリプルネガティブ乳癌およびルミナル乳癌に対する周術期薬物療法の最適化と予後改善に寄与するデータを創出できるよう、全力で取り組んで参ります。	

WJOG14020B	gBRCA1/2 遺伝子変異を有するトリプルネガティブ原発乳がんに対するプラチナ製剤、PARP 阻害剤および抗 PD-1 抗体薬を用いた新規術前および術後療法を評価する第 II 相多施設共同医師主導試験 (OPERETTA)	
目的	BRCA 変異陽性 TNBC において Platinum、Olaparib、Pembrolizumab を用いた新規術前および術後療法の有効性と安全性を評価すること	
対象	gBRCA1/2 遺伝子変異を有する cStageIIA-IIIB トリプルネガティブ乳がん	
試験の進捗	登録受付中、予定登録数 23 症例	 岡山大学病院 乳腺・内分泌外科 高橋 侑子
研究者からのコメント	再発高リスクトリプルネガティブ乳がんのうち、gBRCA1/2 遺伝子変異乳がんを選別し、現状の標準治療より高い治療効果を示す新規術前療法を開発することを目的とする試験です。All comer TNBC での Pembrolizumab の上乗せが良好な治療成績を示した KEYNOTE522 レジメンに対して、より絞った対象に対してさらに良好な治療成績を期待しています。	

WJOG14220B	アベマシクリブ投与後の HR 陽性 HER2 陰性転移再発乳癌に対するアベマシクリブの re-challenge 試験/ctDNA の継時的評価による薬剤耐性メカニズムの評価 (AGAIN)	
目的	アベマシクリブ投与後のホルモン受容体陽性 HER2 陰性転移再発乳癌に対する内分泌療法の変更とアベマシクリブの re-challenge による有効性および安全性を検討し、アベマシクリブの効果予測因子となるバイオマーカーを探索すること	
対象	アベマシクリブ+内分泌療法中に病勢進行した HR 陽性 HER2 陰性転移再発乳癌患者	
試験の進捗	2023 年 11 月 27 日に目標登録数の 65 例登録終了し、追跡期間中。2025 年 10 月 ESMO にて結果発表予定。	
研究者からのコメント	HR 陽性 HER2 陰性転移再発乳癌において、CDK4/6 阻害薬であるアベマシクリブと内分泌療法の併用療法による増悪後の標準治療は定まっていません。内分泌療法に対して抵抗性を示していても、CDK4/6 阻害剤の有効性が保たれている可能性があれば、内分泌療法のみを変更することで、CDK4/6 阻害剤と内分泌療法の併用療法の効果が維持できる可能性が考えられます。本試験では、この仮説を検証するとともに、アベマシクリブの効果予測因子となるバイオマーカーも同時に探索することで、今後の患者選択に有益となる結果が得られるものと確信しています。	 <p>がん研有明病院 乳腺内科 西村 明子</p>

WJOG15721B	ホルモン受容体陽性 HER2 陰性早期乳癌の早期再発のリスク因子を探索する後方指摘多施設共同観察研究 (RealisE)	
目的	本邦の Stage II-III のホルモン受容体陽性 HER2 陰性乳癌 (ルミナル乳癌) に対して術後内分泌療法を行っている患者における早期再発のリスク因子を明らかにすること	
対象	Stage II-III のルミナル乳癌患者で手術を施行し、2012 年から 2017 年の間に標準的な内分泌療法を開始している患者	
試験の進捗	試験の結果を 2024 年の日本乳癌学会学術集会で発表させていただき、今後論文を予定しております。	
研究者からのコメント	ルミナル乳癌で術後数年以内に再発した症例は未だに予後不良です。しかし、術後数年以内の早期再発に関連する臨床病理学的因子については十分に分かっておりません。そこで本試験ではルミナル乳癌の早期再発に着目し、本邦の 5 施設から約 3000 例のデータを収集しました。本試験の結果および後続の付随研究での多遺伝子アッセイの結果を元に、術後早期再発リスクの高い患者への周術期治療戦略を考える糸口になることを期待しております。	 <p>国立がん研究センター 一東病院 乳腺外科 綿貫 瑠璃奈</p>

WJOG14320B	HER2 陽性及び低発現乳癌の T-DXd 治療に対するオランザピン併用制吐療法の有効性を検討するプラセボコントロール二重盲検ランダム化第Ⅱ相比較試験 (ERICA)	
目的	T-DXd 治療を行う乳がんの患者を対象に、オランザピン、5-HT3 受容体拮抗薬、デキサメタゾンの 3 剤制吐療法の 5-HT3 受容体拮抗薬、デキサメタゾンの 2 剤併用療法に対する悪心・嘔吐の制御における優越性を評価すること	
対象	HER2 陽性または低発現乳がん T-DXd 治療を行う患者	
試験の進捗	ESMO2024 の Proffered paper session (Supportive and palliative care) で報告予定。	 昭和大学 先端がん治療研究所 酒井 瞳
研究者からのコメント	患者さん、WJOG の研究者、施設のスタッフ、データセンターの協力によりここまで来ることができました。結果を世界に向けて報告し、ADC の副作用マネージメントに一石を投じたいと思います。	

オンコロセミナーのご案内



第2金曜 19:00~20:00 配信
大阪オンコロジ-セミナー 夜間学校
 一つのがん種に特化し、たっぷり解説
 無料Webセミナー・YouTube生配信・事前申し込み不要



オンコロセミナー
 夜間学校
 サイト QR コード



第3水曜 20:00~ 生放送! 10月17日は本曜日開催
大阪オンコロジ-セミナー 笠井 信輔の
こんなの聞いてもいいですか
 on the web 2024



笠井信輔のこんなの聞いてもいいですか
 サイト QR コード

特定非営利活動法人 西日本がん研究機構(WJOG)、特定非営利活動法人 近畿がん診療推進ネットワーク、エイツヘルスケア株式会社、がん情報サイト「オンコロ」(3H クリニカルトライアル株式会社) が連携しお届けする共催がん医療セミナーです。
 開催 7 年目を迎える 2024 年は、原則毎月第 2 金曜日に「夜間学校」、原則毎月第 3 水曜日に「笠井信輔のこんなの聞いてもいいですか on the WEB」の 2 本立て。「夜間学校」は、罹患者数が多いがん(肺がん、胃がん、乳がんなど)を取り上げ、各疾患のオピニオンリーダーを講師に迎え、講義と質疑応答で進める 60 分のセミナー形式でお届けいたします。

巷にあふれる健康・医療の情報は玉石混合。ときに惑わされ、正しい選択ができず悲しい思いをする患者さんがいらっしゃいます。情報過多の世界で、何を信じたいのか。「笠井信輔のこんなの聞いてもいいですか」では、ご自身も悪性リンパ腫のサバイバーでいらっしゃるフリーアナウンサーの笠井信輔さんをホストに迎え、がんの基礎情報から生活の在り方まで、幅広い内容を共に学んでいきます。開催 4 年目を迎える 2024 年も引き続き、大阪オンコロジ-セミナー Meeting the Cancer Experts「on the WEB」とのコラボレーションにて実施します。「笠井信輔のこんなの聞いてもいいですか on the WEB」は、本年も全 12 回の予定で患者さんやそのご家族、医療従事者など、各回さまざまなゲストをお招きし、ライブ配信ならではの熱量でお届けいたします。

今後の予定

9月13日(金)	小児がん (AYA がん)	9月18日(水)	サバイバートーク
10月11日(金)	乳がん	10月17日(木)	がん患者会の役割とはなんですか?
11月8日(金)	肺がん	11月20日(水)	サバイバートーク
12月13日(金)	胃がん	12月18日(水)	がんと就労・両立支援とはなんですか?

より良いがんの治療法をあなたの方で

WJOG の臨床試験をご支援ください。

寄附のお願い

WJOG の事業活動を継続して行うためには相応の資金が必要となります。WJOG の臨床試験に対しては、製薬企業等からの資金提供を受ける受託研究としての運営を積極的にすすめておりますが、さらに多くの有意義な臨床試験を行うためには、WJOG はその資金を獲得しなければなりません。



また、NPO 法人として WJOG の活動を支えているのは 一般市民のみなさんからの寄附です。特に一般の方からの寄附は、その NPO 法人が社会的支持を受けている証左になりますので、NPO 法人の社会的な認知と意義を評価する上で極めて重要な意味があります。

WJOG は 2015 年 8 月 31 日に、認定 NPO 法人として大阪市より認定されました。がんの臨床試験の推進、がん研究者の育成、がん治療の啓発等、WJOG の活動が公益性を有すると認められたものと考えています。引き続き WJOG の活動を多くの方に広めていただきたいと思います。

本年度も WJOG に寄附をお願いいたしたく存じます。尚、ご寄附を頂ける場合には、添付の振込用紙（振込手数料不要）をご使用ください。また、WJOG への寄附は確定申告する際に所得税の控除が受けられます。「寄附受領書」をお送りしますので、郵便振替用紙にはっきりとご連絡先（お名前とご住所）をご記入ください。

最後に、今後ともご指導、ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



WJOG の WEB サイト <http://www.wjog.jp> または、左記の QR コードからアクセスしていただき、ご寄附をお願いしたいと思います。尚、従来の郵便振替による寄付も引き続き受け付けています。振込用紙（振込手数料不要）も同封いたします。

※個人情報取り扱いについて

振込用紙等に記載いただいた個人情報は目的（寄附受領証発行及び WJOG 通信発送）以外には使用いたしません。また、ご本人の同意がなければ、第三者に個人情報を提供することもございません。

問い合わせ先

認定特定非営利活動法人 西日本がん研究機構（WJOG）

〒556-0016 大阪府大阪市浪速区元町 1-5-7 ナンブラザビル 304

TEL : 06-6633-7400（平日 9 時～17 時まで） MAIL : wjog@wjog.jp